

## 実習2 検索エンジン(Google)を使った情報検索

### 1. Google の基本操作

- ブラウザで [Google のトップページ](#)を開く。
- 検索ボックスに検索したいキーワードを入力する。
- [Enter]キーを押すか、[Google 検索]ボタンをクリックする。
- 検索結果ページでは、検索キーワードに関連するウェブページのリストが表示される。最も関連性の高いページが最初に表示され、2 番目以降も関連性の高い順に並ぶ。
- ページの左上には検索結果の件数が表示される。
- ページ上部の検索ボックスから次の検索を行うことができる。

### 2. ウェブ検索

#### 2-1. AND 検索

- ひとつのキーワードでうまく目当ての情報が見つからない場合は、複数のキーワードを使って情報を絞り込む「AND 検索」を利用するとよい。
- 複数のキーワードをスペース(半角または全角)で区切って入力する。

#### 2-2. OR 検索

- 検索したいキーワードに複数の呼び方や表記がある場合は、複数のキーワードの中からどれかひとつでも含むページを探す「OR 検索」を利用するとよい。
- 複数のキーワードの間に「OR」(大文字・半角または全角)をはさむ。

#### 実習 1

- 「携帯電話」「携帯電話 ケータイ」「携帯電話 OR ケータイ」でそれぞれ検索し、結果を比べてみる。

#### 2-3. マイナス検索

- 検索結果から不要な情報を取り除きたい場合は、省きたいキーワードの前に「-」(半角マイナス)を付ける。

## 実習 2

- 「ニンテンドーDS」と「ニンテンドーDS -Lite」でそれぞれ検索し、結果を比べてみる。

### 2-4. フレーズ検索

- 複数の単語のかたまりをひとつのフレーズとして検索したい場合、そのまま検索すると AND 検索になってしまう。このような場合は、フレーズ全体を「”」(半角ダブルクォーテーション)で囲むことで、複数の単語をひとつのキーワードとして検索することができる。

## 実習 3

- 「”hit the enter key”」「”press the enter key”」「”push the enter key”」でそれぞれ検索し、結果の件数を比べてみる。

### 2-5. ワイルドカード検索

- フレーズ検索には「\*」(半角アスタリスク)をワイルドカードとして用いることができる。例えば「”\* the enter key”」とした場合、「\*」は任意の一単語として検索される。
- 日本語でもフレーズ検索は可能だが、ワイルドカードの動作は保証されていない。

## 実習 4

- 「”click \* the button”」で検索し、「\*」に当てはまる適切な前置詞を探してみる。

### 2-6. ドメイン制約検索

- 特定のサイトに限って検索をしたい場合は、検索したいキーワードの他に、「site:」(半角コロン)に続いて検索したいサイトの URL を入力する。URL のうち「http://」は入力する必要は無い。

- 例えば[名古屋大学のウェブサイト](#)から留学に関する情報だけを検索したい場合は「留学 site:www.nagoya-u.ac.jp」と検索する。

## 2-7. リンク検索

- あるページがどこからリンクされているか調べるには、「link:」(半角コロン)に続いて調べたいページの URL を入力する。

### 実習 5

- [名古屋大学のウェブサイト](#)にリンクしているページの数調べてみる。

## 2-8. 言語の指定

- 検索ボックスの下の「日本語のページを検索」を選択すると、日本語のみの検索結果が得られる。
- 英語のみの検索結果が欲しい場合は、[Google のトップページ](#)の右下にあるリンク「Google.com in English」から英語版の Google を開き、そこから検索する。

### 実習 6

- 「"nagoya university"」というキーワードについて、以下の方法で検索し、結果を比べてみる。
  - 「ウェブ全体から検索」オプションで検索
  - 「日本語のページを検索」オプションで検索
  - 英語版の Google で検索

## 2-9. 検索オプションを使わずに高度な検索を行う

- ここまで紹介してきたような検索オプションを忘れてしまった場合や、さらに高度な検索を行いたい場合には、検索欄の横から「検索オプション」ページを利用するとよい。
- 「検索オプション」ページでは「AND 検索」「フレーズ検索」「OR 検索」「マイナス検索」のほか、地域や言語などの細かいオプションを指定することができる。

## 2-10. 特殊機能

- Google には通常のウェブ検索以外に、電卓、通貨換算、株価、路線検索、辞書などの特殊な機能が用意されている。

### 実習 7

- [Google の特殊機能](#)を読み、これらの機能を試してみる。

## 3. その他の検索

- Google はウェブ検索の他に、[画像検索](#)、[地図検索](#)、[ニュース検索](#)、[ブログ検索](#)など様々なジャンルの検索を提供している。
- また各種検索サービスの他に、メールやカレンダーなどのツールも提供している。
- これら Google の提供するサービスは、[サービス一覧](#)から見ることができる。

### 実習 8

- 同じキーワードでウェブ検索、ニュース検索、ブログ検索を行い、結果を比べてみる。
- [Google マップ](#)を用い、任意のキーワードと場所名で AND 検索してみる(例:「居酒屋 本山」など)。また、地図と航空写真の切り替え、拡大や縮小などの操作を試してみる。

## レポート課題

「情報リテラシー」について検索し、以下の問いについて答えよ。

1. 「情報リテラシー」には様々な能力が含まれるが、そのなかでも特に重要だと思う能力を具体的にひとつ挙げよ。(50 字程度)
2. 1 の能力について検索し、わかったことを述べよ。参考にしたウェブページの URL(複数可)と、どのようにしてそのウェブページを見つけたか明記すること。引用を含めてもよいが、多くても全体の半分程度に留めること。(400 字程度)  
\* 引用をするときは、どこが引用で、どこが自分で書いた文章なのかが分かるように書くこと。

3. なぜその能力が重要だと思うのか、それが自分にどのように関係するかについて意見を述べよ。(200字程度)